

# 原木生産の拡大に向けて

**現状(H30)**  
64.6万m<sup>3</sup>

**民有林**  
46.6万m<sup>3</sup>

皆伐：29.6万m<sup>3</sup>  
間伐：17.0万m<sup>3</sup>

**民有林**  
(森の工場除く)

35.2万m<sup>3</sup>  
皆伐：27.9万m<sup>3</sup>  
間伐：7.3万m<sup>3</sup>

**森の工場**

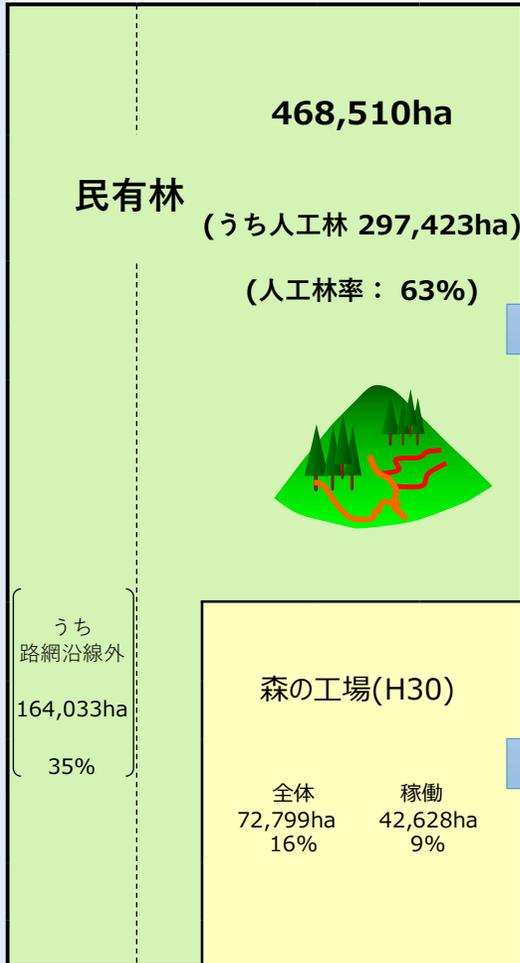
11.4万m<sup>3</sup>  
皆伐：1.7万m<sup>3</sup>  
間伐：9.7万m<sup>3</sup>

**国有林 18.0万m<sup>3</sup>**

皆伐：8.1万m<sup>3</sup>  
間伐：9.9万m<sup>3</sup>

## 課題

- ・事業地の安定確保
- ・労働生産性の向上
- ・間伐と皆伐を複合させた原木生産
- ・再造林率の向上
- ・林業就業者数の低迷



## 対策

※皆伐280ha増、間伐1,790ha増

### ① 労働生産性の向上による事業地の拡大 採算の合う事業地を拡大

- 作業システムの改善による生産性の向上
- ・高性能林業機械等の効率的な稼働に向けた取組支援
- 新** ICT等を活用したスマート林業の促進に向けた研修会の開催
- 新** 安全性や生産性の向上が期待できる新たな生産システムの導入促進
- ・既存事業による作業道等の整備、林業機械の導入の促進
- ・林業事業体の事業戦略の策定及び実践を支援

目標：生産性2割超アップ、増産5.9万m<sup>3</sup>

※皆伐40ha増、間伐1,010ha増

### ② 皆伐と再造林の促進 皆伐の促進と再造林率の向上

- ・林地台帳を活用した森林情報の収集や境界確認等への支援
- ・再造林、再造林のために行う枝条搬出への支援（県費高上げ等）
- ・森林経営計画の作成促進（森林経営計画への編入等）
- ・既存事業による作業道等の整備の促進
- ・流通・加工事業体との連携強化
- 新** 持続可能な森づくりの推進
- コウヨウザン（早生樹）等の多様な樹種による森林整備
- 森林吸収源対策及び環境に配慮した木材生産の仕組みづくり

目標：年間180haを集約化、増産7.6万m<sup>3</sup>

※皆伐180ha増

### ③ 施業集約化の強化 搬出間伐主体→皆伐・再造林を含めて事業地を集約化

- ・森の工場の新設
- 新** 森林資源情報の高度利用(路網設計等)に向けた研修会の開催
- ・事業期間が終了した約3万haの森の工場での事業掘り起こし
- ・搬出間伐への支援（初回 ⇒ 初回+10年経過後の2回目）
- ・林業専用道（規格相当）等の整備
- ・再造林、再造林のために行う枝条搬出への支援【再掲】

目標：年間2,300haを集約化、増産4.6万m<sup>3</sup>

※皆伐60ha増、間伐780ha増

**目標(R7)**  
85万m<sup>3</sup>

**民有林**  
65.0万m<sup>3</sup>

皆伐：41.0万m<sup>3</sup>  
間伐：24.0万m<sup>3</sup>

**民有林**  
(森の工場除く)

48.7万m<sup>3</sup>  
皆伐：37.0万m<sup>3</sup>  
間伐：11.7万m<sup>3</sup>

① 41.1万m<sup>3</sup>  
皆伐：29.4万m<sup>3</sup>  
間伐：11.7万m<sup>3</sup>

② 7.6万m<sup>3</sup>  
皆伐：7.6万m<sup>3</sup>  
間伐：-万m<sup>3</sup>

**森の工場**

③ 16.3万m<sup>3</sup>  
皆伐：4.0万m<sup>3</sup>  
間伐：12.3万m<sup>3</sup>

**国有林 20.0万m<sup>3</sup>**

皆伐：10.0万m<sup>3</sup>  
間伐：10.0万m<sup>3</sup>